京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

内外應酬

一記者

京城曾見錄（九）

（す）日本婦人　京城婦人の類別は前に既に之れを掲げた、其樣から酌婦に至るまでを數ふれば實に多種多樣である、而して其員數も男子に比して甚だ少くは無い、此の内賤業者は措て問はずとするも全体に婦人は跋扈跳梁を恣にして居る、然るに不思議にも婦人の勢力と云ふものは甚だ微弱である、成程愛國婦人會などでは一種の社會勢力といふことも出來やうとは云へ之れは京城に於ける日本婦人の勢力では無いので日本々國に於ける婦人の勢力である、のみならず夫れは名は愛國婦人會と稱し婦人の事業として恰好なるものたりと雖ども同會の性質は根本に於て婦人としての個人性の發揮を容さぬ、唯女性が有する心性の中より對國家社會的の崇高なる犧牲的の分割奉公を要求するので、此の犧牲的心性は男子も固より之れを有して居るので其の事業が婦人に相應しいといふに過ぎないので隨て婦人の根本的勢力とはならないのである、況して同會が日本々國に於ける勢力を擧りに此處に移したのでは、譬へ此の團体の或社會上の勢力を認むるとも、之れを以て直ちに婦人の勢力とすることも出來ず、又當然京城婦人の勢力と見做すべきものではないのである。

然らば京城の婦人は全然無勢力であるかといふに必ずしも爾うでも無いやうである、何よりの證據は其の跋扈跳梁を恣にして居るのでも分る、斯く云へば婦人の勢力を微弱なりとするてとが如何にも不條理のやうに聞へるが、決して然らず其の理由は恁うである、即ち吾れ人ともに最も明瞭に覺知せる如く京城は自然の風物と云ひ、社交の機關と云ひ總て男子に慰藉を與ふるものが甚だ尠い、同時に又京城は所謂「暮し可い」處である、因て暮し向に關する心勞の分前は婦人に於ては實に些々たるものである、去れば男子の婦人に要求する處は唯慰藉のみである、然かも「暮し可い」京城に在って心を勞することの少なき男子に慰藉を與ふることは女性の最も容易しとする處で、而かも十分に其效果を收め得るのである、隨て婦人自らも之れにて十分なる滿足を感じ、他にも求めらるゝ處なきが故に本能の強いるがまゝに跋扈跳梁するのであるが、之れは閨房に於てゝは勢力を成すかも知れぬ、若し客房に於てすれば早や既に何等の權威あるもので無い、實際婦人の勢力は夫若くは情夫以外の男子に對する力でなくてはならぬ、譬へば賣春婦が其の情夫に對する威力の如きは婦人の勢力とは云へぬ、此の意味に於て京城婦人は大体に勢力が微弱であるといふのである、然らば韓婦人は什麼か。

清國新聞の怪報

△我渡清團の排斥

八日入京する我渡清實業團に對する清國各新聞の記事は頗る穩かならざるものあり北京、天津、長春、上海、杭州等に發行せらるゝもの均しく不可歡迎を主張し同團は一に清國の實業を調査して自國の商業發展を謀るを以て目的とするものなりと論じ其標題の如き上海神州日報は「怪物渡清團來」中外日報は「日本人の野心勃々」大公報は「調査我商工者發程」杭州公民日報は「嗚呼人心不測」其他申報新聞報、輿論、時事報等又極端に不可歡迎を主張し北京日報は「咄々渡清團」天津中國報は「殆哉渡清團」等孰れも誤解的の記事を公表して殊更に日清兩國間の感情を害し居れるは實に咄々怪事といふの外なき處なるが在東京の國際新聞協會員たる王津氏は此等の誤報に痛心し頻りに眞相を通報して其誤解を除くに努めつゝありといふ

●北韓排日派不穩

浦鹽にある李範允と氣脈を通ずる排日派千余名は目下咸鏡北道鏡城間島に集合して頗る不穩の行動あるを以て其筋に於ては嚴重に警戒中なり

●暴徒民家に放火

賊魁姜基東の先方將洪元裕は去る二日部下九名を率ひて抱川郡内北面々長趙勳植方へ來り前日檄文を以て命したる軍用金五千圓を提供せよと迫り面長は裏口より逃げたるに發砲し面長の家に火を放って元山街道へ引揚げたりと云

地方通信

▲平壌通信

▲市場税狀況　平壌財務監督局の管内に於ける市場は八百餘箇所なるが曩に市場税徴收に付き端なく順川の暴擧を惹起したるより當局者に於ても大に考量する所ありたる結果其財務署員より直接に徴收するの不可なる狀況ある場所に於ては委員制度を設け韓人をして其衝に當らしめたるに其成蹟は頗る順良にして現在の所にては別に悲觀すべきものあるを見ず固より委員制度は唯其之を設くるに適當のヶ所を認めたる市場のみに施行する目的なるを以て其現今同制度を實施する場所は僅かに十二ヶ所に過ぎずして其他は皆舊制度を嚴行し居れり然るに其全体に對する成績如何と云ふに其徴收全額は未だ以て豫定額に達すること能はざるも是れ現下の狀況に鑑み大に手加減を施し其賦課額の如きは最低額に見積りて徴收する故斯る不足を見る次第にて將來順を追ひ徴收方法宜しきを得ば其豫定額の收納を見る決して難事にあらずと云ふ

▲醫會創立　平壌理事廳銀行其他に於ける人士の發起にて當地に醫會なるものを設立する計畫ある事は既記の如くなるが同會の主旨とする所は平素之が會場には有益なる書籍雜誌等を具へて會員をして縱覽せしめ且相互學事上に於ける智識の交換をも爲し以て索莫無趣味なる韓國に在住せる人士をして高尚なる慰樂を得るの途を與ふると供に智識を期するにある由なり右に就ては既に官廳側にては理事廳を始め觀察道裁判所警察署財務監督局等に多くの加入者あり尚同會にては其他の民會側よりも可成多數の會員を募集する事になり居れるが之が會場に就ては民團役所樓上を以て之に充る事とし既に同役所の承諾をもしたる趣なるが之が會則に對する案は既に作製せられ居れば發起人等は兩三日の内之が創立委員會を開き會則の制定其他に關する要件を協定する筈なりと

▲牛皮取引活躍　平壌市場に於ける昨今の牛皮相場は小皮百斤に付き二十九圓中皮同上二十七圓五十錢、大皮同上二十六圓なるが阪神地方の相場は小皮三十六圓、中皮三十三圓五十錢、大皮三十二圓にして充分取引引合ふにより牛皮商は目下何れも買込み盛んに輸送しつゝあり尤も大皮は主として清國に向け輸送せらる

日本銘刀傳

第百八席　津田近江之守（十二）

邑井一講演

妻「何うでも勝手にしよ」直「へエ大きに長らく御厄介に相成りました、難有うございます」と其儘座を立って我が部屋へ参り兩手を合せ「エヽ旦那様、奥様へにれ発し下し置かれまするやう、心にもない處の無理なことを申しまして、相濟みません、私は居酒屋で聞いたる今日の次第、勿體ならぬ事へも實に無念で堪りません、定めて旦那様に於ては、腸を斷たるゝ想を遊ばしたのでございませうが、能く御辛棒遊ばした、只今何事も申しませぬ、人間一心さへ貫きましたら、鯱度思慮の達せぬことはございません、何でも私は是れから大阪へ参って、土に噛ひ付いても二年と三年と辛抱致して百兩と二百兩纏めた金子を拵らへ、其金子で立派に人仲へ差して行かれる處の刀を購め、夫れをれ土産と致して持って歸り貴方の曠蹉と致し、幼少の頃よりの御恩報じを致したいのでございます、己れ家老大野の前にて、立派に貴方の御恥辱の雪げるやうに、此の直助が一心でお爲せ申しますでございませう、其時には今の私の心中が解りませう、不忠な奴だとお怒りもございませうが、先を樂しみにお待ち遊ばして下さいまするやう、何うか不忠の罪は御容赦を願ひます」と口には夫れと云はねど心の中、涙に暮れて暫しは泣き伏して居りましたが、軈て一二枚の着換を風呂敷包に致しまして、思ひ切って其儘同島の屋敷を立出でましたが、一足歩いて振顧り、れ屋敷の方を懷かしさうに打眺め「必ず奥様御立腹遊ばして下さいますな、今に直助が故郷に飾る錦の嘖衣、夫れまでの所はお待ち遊ばして下されますやう」と名殘惜しくも播州赤穂を後になして、漸うのことに日數を重ねまして、播州大阪の土地へ乘込んで參りました、最も路用とてもわ（ず）かと云ふではなし、與の僅かな小遣を持って參ったのでございますが、是れとても使ひ果して了ひました、仕方がないから一二枚の着物も賣盡してしまひ、今はホンの着の身着の儘、古びたる菅の山形なりの笠を被り、背中には豊島県莚を被ひまして、マア一寸乞食としか見えない風体でございまして、大阪の土地へ來て一寸五日許りと云ふものは唯何と云う目的もございません、彼方此方と彷徨きながら、漸う今日しも天滿へ遣って參りましたが、此西天滿の砂原屋敷を通り蒐りました是は丁度其頭ほひ砂原屋敷と申しまして、只今で申しますると寺町木幡町近邊に其砂原と云ふ所の古跡があるさうでございます、尤も其時分でございますから、此邊に家が建て詰まって居ると云ふのでもございません、彼方に二軒此方に三軒と疎離でございまして大阪とは云ひながら、矢張在方も同樣でございまして、其砂原屋敷の邊りに間口が三間、角引廻して横手の所は疎格子に相成りまして、職場と見えて裏方もテンカン／＼と、刀を打って居りまする槌の音が聞えますから、ハテナと氣が付いて格子の内方で覗いて居ると、年齡は最う四十以上でもあらうと云ふ、デップリと肥ねた、是れは當家の主人と見ねますが横座に座はって小槌を振翳って頻りに刀を打って居ります、前に二三人の弟子が向ふ槌を致して居ります、是れ其頃ほひ新刀鍛冶ながらも、浪華の住人津田越前守助廣と云ふ刀匠でございまして、今頻りにテンカン／＼と打込んで居りまするのを、ヒョッと格子の前に立停まって眺めたる直助は、ハヽア當家は刀鍛冶屋さんだなと、思ひながらも暫しの間、斯う眺めて居りましたが、待てよ田から行くも畔から行くも別に異ったことはない、國を出る時の考へは何うか手蔓を求めて大阪の土地で二年三年と奉公をして、百兩と二百兩纏った金子を拵らへ、立派な大小刀を購め、旦那様へ夫れを土産に持歸りたいと思ったのですが、今からでも一生懸命になったら、斯の道に成れないこともあるまい、然うだ、こりやア事を俺が刀匠と云ふ者に相成って、其上少し覺ゑ込んだ時に、十分心を籠めて一本の刀を鍛へ、夫れを土産にすると云ふのも面白いことでありまます。

新訴訟、非訟、登記、戸籍上の變更、訂正、諸願、契約書起案、諸會社定款作成、其他諸般の代書
右者拾數年の經驗と精實とを以て迅速に依頼者の滿足を旨とし其衝に當り極力成功を期す
京城裁判所前　池田事務所

新荷着

各地雜貨店及藥店ニ販賣ス

三一館

內外科　小兒科　梅毒淋病　入院隨意
京城壽町三丁目　高井醫院　電話二一六
院長　陸軍軍醫正　高井貞治

襖並表裝一式　材料販賣　勉强
龍山　尾崎表具店

製品種目
特約販賣　申込
日本電業株式會社

業務ヲ擴張シ諸般ノ便宜ヲ期スル爲メ京城鍾路裁判所西（舊韓國日本興業銀行跡）ニ事務所ヲ設ク
自宅ハ從前ノ通旭町二丁目六十七番
辯護士　岡田榮
電話　事務所三七九　自宅四八三

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室（皮膚病黴毒專修）に奉職し今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒淋病膀胱病（生殖器機能障礙）の診療に從事
診療　入院隨意
南大門通三丁目
佐藤皮膚病院

銘酒　白雪　灘
廣告

各科診療　入院隨意
龍山元町二丁目
佐藤病院（電話一〇三番）

●諸公債、諸株券、現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業
京城本町三丁目　田中友吉商店　電話九二三番

京城新報

奉吊英皇帝

我同盟大不列顛國皇帝エドワード七世陛下病を以て去る六日の夜崩御し玉ふ噫悲哉。

陛下は故ヴイクトリア女皇陛下と皇婿アルバルト親王との御間の第二子にして千八百四十一年十一月九日を以て生れ玉ふ、一千八百六十三年三月十日丁抹王クリスチャン第九世陛下の長女アレキサンドラ内親王殿下を娶らせ玉ひ、皇太子としてウエルス親王と爲らせ玉ふ。

賢明貞淑比なき母皇ヴイクトリア陛下と聰英比なき御父アルバルト親王との御血を受けさせられたる陛下は幼時より御聰明に渡らせられ慈母嚴父の御監督の下に大英國の教育を受けさせられ長ずるに及んで只に高貴の御身としてのみに非ず實に理想的英國紳士として他の師表と仰がれ玉ふの資格を備へ玉ふに到る。

故母皇は長命に渡らせられしを以て陛下は永き間ウエルス親王として内御父母に孝養を盡させられ外諸種の學會及公共事業等に力を注がせられ其御功績著しきものありて存す、且つ常に民情研究の思召を以て自國の民人は勿論歐洲大陸各國の民人に接近せられしを以て内外民人は陛下を目するに民人の良友を以てするに至る。

陛下ウエルス親王として在はせし事四十餘年其永き間孜々として倦み玉はず只管賢主の資を造らせ玉ふ、其狀恰も我聖仁天皇の如く風雲度か吹きしも喬木は遂に折られずして止む。

千九百一年母皇の崩御に際し踐祚してエドワード七世と名乘らせ玉ひ大不列顛國王及び印度皇帝と爲らせ玉ひ世界最大帝國に君臨し玉ふに到る。

陛下の御治世は英國近代史の華なり、南阿帝國の統一濠洲聯邦の統一等之れ陛下御治績の一部を語るに過ぎず。

陛下常に平和を愛させ玉ひ友邦との誼を重んじ玉ふ特に我國とは英帝國國初以來未曾有の攻守同盟を締結せられ東洋否世界平和の保障とせられ文明の進歩に一大勁力を與へ玉ふ。

謹で惟ふにエドワード七世陛下は英主なり、外交家なり、學者なり、紳士なり、且つ慈善家なり、此稀代の明君を失ひたる英國上下の震駭悲傷察するに余りありと信ず余輩生を帝國に享く、謹素より英國上下と悲を分つ因て謹みて喪に服し併て深厚なる同情の念を致す皇天冀はくば斯意を大不列顛國の上に垂れよ。

歐洲電報

▲**英國皇帝の崩御** 英國皇帝陛下には氣管支炎に罹らせられ六日夜遂に崩御あらせらる(七日)

▲**英帝崩御の詳報** 英國皇帝陛下の御病症は五日夜比較的安らかなりしも容体佳良に向はせられず六日朝氣管部は前より一層重態なるを示せり同十時陛下には御危篤に瀕し給ひ各皇族を倫敦に召還せられたるしも十一時咳嗽烈しく呼吸微弱にして昏睡狀態となり十一時四十五分遂に崩御せられたり原因は曩に劇場にて風邪に罹らせられビヤリツク訪問のさい氣管支炎の再發せし爲めなり(八日)

▲**英皇帝の大葬期** 故英國皇帝陛下の御大葬は五月二十一日御執行あらせらるべしと(同上)

▲**日英博覽の延期** 英國皇帝陛下崩御せられし爲め五月十二日擧行の筈なりし日英博覽會開會式延期せらる(同上)

▲**伏見宮の御吊問** 伏見宮貞愛親王殿下には五月七日倫敦に到着あらせられたるが我皇室を代表して新帝ジョージ第五世陛下に哀悼の辭を奉られたり(同上)

▲**新皇帝の即位式** 英國新皇帝陛下はジョージ第五世と稱せられ五月九日即位式を擧げさせらる(八日東京經由)

▲**新英皇帝の勅語** 英國新皇帝ジョージ第五世陛下は樞密院に御親臨被遊先帝の遺命を嚴守すべきを宣へり(同上)

東京電報

▲**英帝崩御と伏奏** 桂首相は本日午後參内天顔に咫尺し奏上する處ありたり英國皇帝陛下の崩御に關してなりと(八日)

▲**我皇室の御吊電** 英國皇帝陛下崩御に就き我が皇帝陛下より長文なる吊電を送らせられ東宮殿下以下各皇族よりも同時に吊電を送られたり(同上)

▲**宮中喪を仰出さる** 英國皇帝陛下崩御に付我が皇室にては七日より二十七日まで二十一日間宮中喪を仰せ出さる(同上)

▲**吊問使の御差遣** 我が皇室にては英帝崩御吊問の爲め皇族殿下を英國に御差遣わせらるべし(同上)

▲**各相以下の吊電** 英國皇帝陛下崩御に就き桂首相以下各相及朝野の名士より本日吊電を送れり

▲**東宮殿下の參内** 皇太子殿下には昨八日午前十時三十分參内又た三皇孫殿下にも同時に參内兩陛下に御對顔正午御退出相成りたり(九日)

▲**東京市民の吊意** 東京市民は英皇帝陛下崩御に就き皆半旗を掲揚し宴會を中止し吊意を表し居れり(同上)

▲**國債償還と新債** 今回大藏省令第二十六號を以て委託又は供托にかゝる國債償還現金の代りに新公債交附に關する特別取扱規定を定めらる(同上)

▲**貴衆兩院の吊詞** 我貴族院衆議院は英帝の崩御に對して丁重なる吊電を發せり(同上)

▲**朝香宮御披露延期** 朝香宮鳩彦王殿下と富美宮内親王殿下の御成婚に就き御披露の爲め七、八日兩日御開宴の筈なりしも英國皇帝陛下崩御に就き延期相成りたり(同上)

▲**ロ氏夫妻の義捐金** 目下來遊中なるロビンソン氏夫妻は第六號潜水艇の遭難に關し甚大の同情を寄せられ同國大使を經て金三百圓を遭難遺族に義捐したり(同上)

▲**鐵道院罹災者救恤** 鐵道院東部管理局にては今般青森市の大火に際し青森虎町の兩驛に勤務せる百七十五名は共に我が家の類燒せるにも不拘公務に盡瘁したるはかゝる場合に於ける模範なりとて長谷川局長は局員と協議の上罹災者を救恤する事となしたり(同上)

雜報

半旗の掲揚期間 英國皇帝陛下の崩御に付て統監府理事廳及個人等の半旗掲揚期間は八日より向ふ三日間なりと云ふ

日本電通の奇禍 日本電報通信社倫敦特電は七日早朝英國皇帝陛下の崩御を傳へ東京本社は此旨を急私報を以て京城同支局に同電し來れり依つて同支局は直ちに號外に付せんとしたるに統監府理事廳は未だ其公報達せざるの故をもつて發表を制止し其理由とする處は若し萬一誤報ならんか同盟國に對する最大不敬を釀もすの虞れあればなりと言ふに在り思ふに公報と私報其價値に於て何程の徑庭かかわる等しく是れ人爲の行動にして是にして誤あらば彼も亦誤なきを保すべからず斯く杞憂せば天下の事悉く其實際を目擊するに非ずんば信を措く能はざるべし抑々英國皇帝陛下の崩御在ませるは同盟國たる吾が帝國の一大不幸事にして知つて之を報道せざるは啻に不忠甚しき所以なるのみならず不知不識の間に對々不敬の所業あらんを憂へ同社は官憲の干渉を顧慮するの遑なく七日の通信に揭載し之を讀者に配付せるに官憲は同夜七時に至り該通信の發賣頒布を禁止し其發行を停止せり由來統監府は事々物々秘密主義を固執し言論の抑壓甚しく識者間の物議を招き居りしが今や英皇崩御の如き韓國の治安と何等沒關係なる一記事に對し不法抑壓を逞ふす然るに停止の嚴命を達しつゝある瞬間に於て京城日報は號外を發し同一の公報亦統監府に達せりとて三浦理事官は俄かに其態度を改めて該命令を撤回せんと企て秘密に交渉を申込み來れり既に該記事禁止すら不穩の事なるに尚ほも通信の發行を停止し更に又偲く姑息の手段によりて事を曖昧糊塗せんとするが如き益々[illegible]臭を極む同社たるもの爭かで斯かる不法の要求に應ずべけんや則ち斷然之を拒絶し公然相抗爭すべきを言明して其顛末を本社に報告せり而して在京城新聞社及特派員も這般官憲の不法行爲に對し痛く憤激し就中特派員は長文の電報を各本社に發したりと(日本電通)

●**渡清實業團の下仁** 滯韓中の渡清實業團近藤廉平氏外一行は九日午前十一時三十九分仁川驛着列車にて來仁せしが橋本仁川理事官代理以下岩崎民長其他官民有志數十名の出迎を受け徒歩にて仁川稅關前港灣設備の現場及び穀物斗量場等を巡視の上鱗樓に於て重なる官民と午餐を共に喫し黃昏京城に引返したり

●**四月中の鑛業統計** 四月中に於ける鑛業及砂金採取出願は總數八十四件之を鑛別にすれば金鑛四〇鐵五黑鉛一一石炭五金銀四金銀銅一銀鉛一砂金一七にして此出願料七千六百圓外に許可登錄料四千三百圓讓渡手數料一千七百圓等其他の諸手數料合計一萬五千三百五十八圓に及べり

●**四月中の輸出生牛** 四月中釜山輸出牛檢疫所に入所したる數五十七頭前月よりの繰越五十六頭解放百十三頭にして之か仕向地は下の關九十頭大分縣二十三頭なり而して本年に於ける累計は入所四百二十二頭解放四百九十九頭にして外に斃死一頭也と

●**黄海道沿岸密獵船** 關稅局所屬第三號巡邏艇は先日黄海道の沿岸を偵察し近頃其報告を齎らしたるが同沿岸は該して密漁船の來航するもの少なく同艇の巡邏中清國ジャンクを臨檢調査したる總數貿易船十艘密漁船二艘にして後者は嚴重の訓戒を加へて歸國を命じたりと

●**英總領事館吊問者** 英皇陛下崩御に就き昨八日より今九日に掛け大久保軍司令官を始め我が文武官、各國總領事其他在京知名の内外國人等は同館を訪問し吊意を表せり

●**各種宴會の中止** 英帝陛下崩御あらせられたるに就き八日夜統監邸に開催の豫定なりし實業視察團歡迎會鐵道管理局園遊會内部運動會及十日官民發起の花月に於ける實業團歡迎會中止す

●**西北學會同窓會** 西北學會にては八日午後一時より同會館に於て太明軾以下役員三十七名會合同窓會を開き役員の進退入會申込者三十四名に對して入會を許可する件を議し二時散會

●**冬外串燈臺點燈** 韓國東岸冬外串燈臺は故障の爲め點燈及び霧笛吹鳴停止中の處本月拾一日より從前の通り點燈及び霧笛の吹鳴を開始する筈なりと

●**英國將校の出發** 七日午後十時四十分南大門發列車にて英國陸軍將官フイリツプソン氏夫妻釜山に向け出發す

●**山根正次氏着任** 新任内部衞生囑托山根正次氏は九日内部に出頭したり

●**齋藤主計の入京** 齋藤海軍主計少監八日午後八時二十分釜山より入京す

實業團出迎の記

社長命ずらく實業觀光團を途中に迎へて敬意を表せよと余即ち命を果して其始末を叙すること如左(一記者)

七日午後十時四十分南大門驛にて釜山急行列車に搭す、實業觀光團を水原驛に出迎へんが爲めなり、車室に入れば和裝の一紳士あり、見た樣な顔なりと首を傾げるまでも無く其の京城理事官三浦彌五郎氏なるを知れり、記者は未だ君と面談したることは無かりしも、君の風貌を望見するの機會は毎に甚だ多くして、昔者眞田幸村は七八の影武者を有せりと聞く、君或は十人の影武者を有せるに非らざるかを疑はしむる程なるに君が假し戎服を脱して瀟洒たる和裝に世を忍ぶとも、など見違へることのあるべき、後刻爲せん樣ありと私かに點頭きつゝ一隅に蟠居す、滊車は斯る事に頓着なく闇を劈いて直走りに駛す、君も亦何にも知らず悠々にせる一冊を取出して耽讀す、間も無く滊車は水原に着けり、滊車を下りて旅宿に到れば君は先て其處に在り、記者は於此初めて名乘りを揚げ直ちに君の室を覘ふ、話に英皇帝崩御の事に始まり、日本電通の發行停止は誠に余儀無き事に出でたるもの、唯此の時遲く彼の時早く崩御の公報達したるに依り執行に及ばずとせしも既に之れに着手せし後なりしを以て、遂又余儀無く其の手續を了きしたるは氣の毒なりしなど語りつ話頭一轉して日英博覽會に及び、再轉して京龍合併問題に關する意見を演ぶ、其の大を計りて小を遺さざる頗ぶる傾聽に値す、時に夜は既に更たり、君は縱論橫議舌端に風を起しつゝ密かに欠伸を噛み殺ろすこと一度復た一度、即ち辭して寢に就きしが、夢無上に圖かにして欣快窮りなし、夢なれば社長も咎むる無からん、北叟笑みつゝ敢て其の一端を洩らさんか、實は花間に逍遥せり、

明くれば八日前七時何分賓客の一行を乘せたる列車をばプラットホームに待受けて之れに上り、謹むで敬意を表し健康を祝しぬ、皆健在、疲勞の色さへ見へず、三浦理事官は近藤氏と相對して、一行の滯京日程に就て何か頻りに打語らふ、一方には京日と奧田鯨洋子當日の新聞と、自著の日韓古蹟を通呈するに忙はし、記者は密かに大谷嘉兵衞氏に狙ひ寄り、此の白頭翁想ひしよりも年寄られたりと打見つゝ「淸國に於ては甚だ御一行を歡迎せざるやに傳ふ、京城は然らず滿腔の誠意を傾けて各位を歡迎せんとす、唯大英皇帝崩じ給ひし爲め遺憾ながら心のまゝの歡待を爲す能はざらんも、此の誠意あり、憐ばれざる淸國視察の日を縮めて暫く京城に足を留められては如何」と云ひしに翁は呻吟して應へず、隣席なる土居大商會頭は「四億の人口を有てる淸國のことなれば中には我等を厭ふものもあらん」と打咲ふにぞ記者は「貴翁や鈴木名古屋會頭には取引の關係上在韓商人の注文格別に多からんと思はる御兩處こそ特に永く滯在されたきものなれ」と云へば土居翁は打傾きつゝ「果して爾るべきか」とて聊か難める色あり、鈴木氏は予は名古屋よりも種々の注文を聽せり、一例を擧ぐれば名古屋物産の韓國に輸入さるゝものは大坂商人の手を經るにあらざるよりは必ず失敗に了るが如し、其の如何なる理由の存するやを知らず、此外調査したき事多にあれども時日の許さざるを奈何せん」とて何か思案するかと見ればポケットに鉛筆を探りて運りに之れを舐るなりけり、ハテ訝かしと思ふ間も無く新聞の挿繪の白く殘されたる部分に醉態臨海最高樓夫から何やらして何やらしたる一絶を作り、之れを郵船會社の永井氏に附す、永井氏は一行中の詩宗なりと、即ち詩稿を兩氏に請ふ、鈴木氏ポケットを探る、奧田京日子如才無く所持の原稿用紙を展ぶ、鹿山、鈴木摘と記すを見たる大橋新太郎氏が手片の摘は見馴れざる字なるが如何の意義ありやと問ふ、鈴木氏は糸片の摘と同意義なるも多く用ゐられず、議員選擧の際は損なりと、咳くが如くに云ふを大谷白頭翁耳聰く聞きつけて「總て有効ならん」と云ふ、一同洪笑す、鈴木氏は記し終りて永井氏に遞はし、氏は大郎にて得たる一絶を寄す鯨洋子又如才なくポケットに蹴む、記者は自ら如才ありしを悔めども及ばず、向直りて東商の書記長白石氏に「松方幸次郎氏は何とて京城に來られずや、韓政府が驅逐艦の注文を爲すべくも無き以ならんか」と問へば氏は温顔に微笑を湛へつゝ「否々斯る理由にあらず異に多忙なるが爲めにして多分奉天邊にて一行に合することゝなるべし」といふ、斯る間に滊車は永登浦を過ぎ龍山に着すれば出迎への人車室に溢れん斗りなりき

經濟協會例會
本會例會を十日午後六時京城ホテルに於て開催仕候勿々の際通知洩も有之候哉と存じ特に本廣告を以て御通知申上候
當夜は近藤廉平氏外實業視察團の諸氏も御出席の筈に有之候會員外出席御希望の諸君は京城ホテルへ十日午前中に御申込相成度候
韓國經濟協會

實業觀光團の旅程

實業觀光團は十一日京城出發平壌に一泊し安東縣、草河口に各一泊、奉天に二泊、大連、旅順、營口に各一泊、天津に三四泊、北京に五六泊し夫れより漢口、武昌、太沽、南京、蘇州、杭州を遊覽して上海に出で同地にて相談の上以後の行程を定むる豫定なりと

●**京城記者團晩餐會** 京城記者團は目下來城中の報知新聞北京特派員石川安二郎氏の爲に歡迎の宴を催す筈なりしが時節柄遠慮の必要あるを以て歡迎會を中止して記者團晩餐會を八日午後六時花月樓に開き石川氏を招待したり

●**平壌炭と海軍使用** 從來吾國海軍に使用し來りたる煉炭は主もに德山海軍煉炭所の製品なりしが日露戰役後平壌炭を煉炭として使用することゝし爾來當局に於て之れが品質効力等を試驗の結果平壌炭の優良なることを認めたれば今後は平壌炭より海軍使用炭の過半を仰ぐことゝなりたる由

●**韓銀支店長ご會議** 今十日より韓國銀行に於ては支店長會議を開催する由なるが同行開店以來本會議を以て即ち第一次となすと

●**關釜連絡船の遲延** 昨九日朝釜山に着すべき關釜連絡船は濃霧の爲め延着し同夜當地に配達さる筈なりし内地郵便物は一日遲延せり

●**中村農務局長歸省** 中村農務局長は來る十一日より四週間の豫定にて郷里金澤及東京へ歸省すと

●**新任保安課長着任** 八日午後八時二十分南大門着列車にて内部保安課長泉警視着任したり

龍山通信 (九日支局發)

步兵第六十四聯隊本部は去七日西鮮[illegible]出發歸還せり▲新任龍山署長谷川警視は昨九日出署し新任の挨拶を爲し事務の引繼ぎを受けたり▲上村新任東部署長は別項記載の如く前任龍山署の事務引繼を了したる後直ちに入京事務の引繼を受けたり▲龍山民長及民會議長は昨九日民團及民會を代表し過日龍山鐵道官舍附近に於て暴漢の爲めに毆打されたる竹内渡邊兩職員を慰問す

▲治外法權▼

エドワード七世陛下の御崩御に就ては我皇室に於ても御近親同樣の宮中喪を仰出された、吾人同盟國の臣民は謹みて吊意を表すべしだ▲折角見えた近藤廉平氏以下の實業觀察團は丁度生憎であつた、當地に於ける歡迎準備も相應に出來て居たのであるが時が時故見合すことゝなつたのは實に殘念の至りだ▲實業觀察團に對する歡迎の準備は只り當地のみならず行かる先先でして居ることと思ふから之等も此際一切見合せとなることだらうと思ふ▲通例觀察團と云へばどこへ行つても歡迎に忙殺され折角の觀察も調査も第二となるの傾があるが今度の樣にドコの歡迎も見合せとなるとすれば近藤氏以下が視察の目的を達するには却つて好都合かも知れぬ▲城北[illegible]士で東都の紙價を高からしめし今の報知新聞北京特派員牛山石川君がやつて來た、君は往年東郷大佐今の東郷大將の艦長たりし浪速艦に便乘して布哇に行き白人記者團の歡迎を受け其席上にて太平洋海底電線論をやつた當時聞く者皆君の議論を夢なりと冷笑した、而るに今日に於ては其夢が現實となつた▲君は古き高樸黨の雄者で身自ら今日坊間で流行するハイカラと云ふ語の創作者だ、尤も同語の普及に就いては今の小松外務部長が大分骨折つたものだ▲八千圓の衞生顧問山根正次は國民協會時代からの曾禰統監の子分だ、彼元來内地に用の無き[illegible]曾禰子に縋つて八千圓に有附いのだ、韓國の防疫事務を彼に任かせるとは何と情けないことでないか。

シガー、ブドウ酒、ブランデー、洋菓子、果物カン詰類
ガレット、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水
卸小賣
歐米雜貨洋酒食料品
洋煙草類金銀屬美術品
直輸入商
京城本町二丁目
辻屋
本店電話二四八
支店電話三六六

名妓洗髪のれ妻(六)

▽家橘から手切證文 ▽弟は刑罰で材木商

市村のれ母さんは心配をかけて、板橋くんだりまで毎日〳〵足を運ばしたり、總切樓にまで御厄介になりましたのに、何と云ふ縁ですかね、私と市村とは其れ切れに人樣には隨分と心配をかけたり金やら迷惑をかけたりして居ましたがね、市村といふ男は夫れは〳〵淡白な竹を割つたやうな男で、市村が何んな人間であるか解らないが、私の弟の話をすると分りますよといふのは弟が實の處市村には嬉で了つたのですわ◆弟は安達守典と云ひまして、ツイ兩三年前まで慶應義塾に在學をして居ました、此弟が十九年に國の中學を出て上京しましたが、直ぐに逢はず、其れまで私は國の者とは一切音信不通でした肉親の弟が上京したのですから弟も逢ひたがる、私も長らく斯な稼業をしてゐるもの、郷里の話を人から聞くと俄に昔の血潮が何處かにあると見えて傍き立ちもしますよ、人間が豚になる、實の處私は斯んな商賣の人間ぢやないと時々は思ふがありました、弟が二年にやう〳〵弟に逢ひましたが、弟は當時長崎から來て未だ二年、私に逢ひ度いとは頼むから聞けば姉さんは——姉さんと呼ぶも實は憚るやうですが姉さんは家橘と云ふ役者と夫婦同樣に暮してゐるさうですが、其れは宜くない、今更云ふのもちありませんが、役者などに戀してゐるうちやさんが、家の系圖から云つても御先祖に勿論濟みませんし、其れは行末が案じられ、末は道傍に野倒死をしても國のものは知らぬと云はれては濟みませんと、感攻する處になつて大變な剣幕で強意見なのです、市村とは別れ、勿論姉の手前を顧みて見れば、市村が無理者ならでしようと苦しい頭の行儀が眼の前に現れて見れるやうな氣がして、夫れなら分れやうと言ひまして、家橘から手切の證文を私が取つて來ようかと言つて、當時市村が名古屋の御園座に出て居たので館々名古屋へ行つたのですが、兩人が縁はまだ書きはと云ふのですかね、弟が歸つての話しに、並の役者なら離れがたいと云ふ話しでも私が手を切らすが家橘だけは立派なもので、猶々と商賣は濟つてからの手に手切れの證文を書けと云ひ〳〵て來ましたよ◆姉さんは十五歳の時に別れたが、姉さんの氣象は私は知つてゐるから、家橘の事は兎に角、國から出て來る貧乏な書生を養つてやりなさい、さうすれば私が姉さん〳〵といへる名目が立つと云ふので、私も尤もと思つて芝さん新橋の十九番地の不動堂に、市川學校などへやりましたが、其れから、國の書生も今は何んな身の上ですか、其れも今は中國へ、今に弟朝鮮で伊藤御前のお引立を蒙つてゐましたが、さう〳〵は其の後國へ歸つて材木の商ひを、私も一度朝前に對州へ祭り込まれやうとした事があります。

赤襟紅梅れ仙

▽新吉原稲舛樓の中將 ▽又しても浮氣沙汰

南山町より本町一丁目に晝しく女房と云ふは今は昔東京淺草觀世音の地内仲見世の紅梅焼屋何某方の養女にして赤襟の前垂掛け臺の配台も好く婀娜な姿に客の寄る米櫃娘と唄はれたるせん女郎の身の成れの果てにて其の浮名は既に幾渡か平民文庫にも載せられたる寶なるが突然折角賣り込んだ本町店を閉し見る影もなき迄に彼所此所と澹浪るには深き仔細のあるらんと探り見たるに尾鰭夫れを模倣した我が夫ならぬ稜重ねの外知られてならぬ事より撲られ蹴飛されたる話し三行半以上の仕儀とはなつしく彼れが今日迄の養父母が持たせて與へず自ら好んで新吉原稲舛樓に名も中將と改め出でたるが其の內足繁く通ひ來りし深川木塲邊りの豪商何某

自暴から淺草田圃の破落漢と馴れ染め後足で砂を蹴つて臺灣

に身受けせられしも堅い勤めが嫌になり退ん出で終ひ手に手を取つて臺灣へ落ち延びたるが此所も思ふた程面白からぬより牛を馬に乘り換へて此の朝鮮へ渡つたものなればモウ浮氣にも懲りて居るかと思ひしに又してもの此の始末他人事ながら末の案じられる次第なりと思へば心配千萬なり

モルヒネ自殺

▽兒を失ひて精神錯亂

昨九日午前六時頃櫻井町に婦人の自殺未遂の椿事ありたり其の原因及內容に就き聞き得たる事實を記せんに岡山縣御津郡一ノ宮村大字尾ノ上五百七十二番地當時櫻井町五百十二番地砂田左平內縁の妻コセム(三九)は左平と同棲後は夫婦睦じく暮し來り去月上旬に一人の男子を產みたるより夫婦は大に喜び大切に養育中不幸にも四月下旬に至り子供は死亡せしにぞ左平の嘆きは勿論こせむの愁嘆は一方ならず發狂せん許りになり食事も滿足に爲さぬことゝて左平も大に心配爲し居りぬ然るに左平宅は温突一室疊敷四疊半の二室あるとてこせむの妊娠中及產後は夫婦別室に左平は四疊半にこせむは温突に寢に付き居りし由にて一昨八日も別室に寢たりしに昨九日午前六時頃こせむが非常に苦痛の鼾かくより隣室なる左平は驚き驅け附け見しに全身蒼白色に變じ居るより吃驚仰天何は傍に鹽酸モルヒネ四〇瓶入ありしより直樣南部署に訴出たるより警官醫士と同伴檢視せしに諸筋肉總て痲痺し脉搏休止到底蘇生の見込み無く目下大韓病院內科部長に診斷を受け應急手當中なるが原因は愛子を失ひ精神に異狀を呈したるが爲ならんと

巡査の紙幣變造

▽行使した後に發覺

仁川府西面墨洞居住の朴完㕝長男朴容圭(三一)と云ふは一昨日午前六時頃仁川龍洞菓子商姜聖伍方にて五圓紙幣を出し砂糖二錢五厘を購ひ過剩金四圓九十七錢五厘を受取りて立去りたるが後にて右紙幣を熟視せしに全く一圓紙幣の一の字を五と變造せるものなるを發見し直に京町派出所に訴出でしかば其筋に於ては嚴重に犯人を搜查中該被害者は同日午後行使者なる朴を同行訴出でしより取調べたるに右紙幣は本月六日仁川府墨洞鄭召吏より受取りたるものにして變造紙幣なるを知らず行使せしものなりと申述べしも本人は元仁川警察署の巡查を奉職せし事もあり聊か小才の利く男にて今は空しく流浪せるものなれば貧困の結果惡意を生じ斯かる大罪を犯したるにはあらずやとの嫌疑あり目下留置の上嚴重に取調中なりと

強姦犯人の逮捕

▽十三歳の少女を姦す

食地に於て昨冬深夜に入ると不良の徒出沒し婦女に對し怪しかる擧動に及ぶのみか中には之れが爲め處女の操を破られし者も尠なからざるにぞ鍾洞分遣所に於ては洞峴分署と協力鋭意犯人搜索中の所遂に去る七日に至り分遣所特務衣笠上等兵の手により當時本町七丁目林田疊店雇人原籍兵庫縣丹波國多紀郡篠山上二楷町生れ山口勇助(二二)と云へる者加害者として引致せられたるが同人は卵の殼が未だ臀に附いて居る僻に此の方だけの發達は著しく女を見ると何うにも斯うにも我慢出來ず外に女がなかつたら姉さん叔母さんの袖襟を曳き兼ねまじき代物なりと云ふが第一の被害者と云ふは若草町二丁目二番戶松田方下女庄田ゆき(十三)にして同人が本年四月六日の夜十時頃本町にて買物の歸途を要し附近の畠中に拉去し獸慾を遂げたるなるが其の筋の見込に依れば他にも同人の毒手に罹り居るもの鮮あるべしとの事なるも事件進行の上は障礙少なからざるべきを以て詳細は後日に讓る

龍仁郡衙の燒失

▽損害約千八百余圓

七日午后十一時十五分京畿道龍仁郡衙宿直間より失火し郡衙一棟書籍器具其の他雜品全部及土地證明書貼用の消印未濟の印紙金三百余圓燒失せり失火の原因は未だ確かならざるも同夜宿直書記某は足の附近に洋燈を置きありしが故に或は同書記の過失より出でしにあらずやと尙は人畜には死傷なきも損害は千八百余圓なりと云ふ

英皇崩御と音曲

▽三日間の鳴物遠慮

英國皇帝陛下崩御に附吊意を表する爲め三日間鳴物其の他公の宴會等を八日より十日迄遠慮す可き旨其の筋より達せられたりと

●惡玉轉業者檢擧 岡山縣平民當時太平町一丁目六十七番戶石原常五郎(四四)愛知縣人平民當時實來町佐々木喜郎方横山平左(三六)は何れも素行不良且仕事嫌ひの曲物にて殊に石原常五郎は何を行つても失敗のみ續きに待合も爲せし由だが是又失敗、失敗の原因は仕事嫌ひの爲めの由しなるが二人は何れも玉轉業に從事し三枚札と稱する四五錢掛けの賭博を韓人相手に盛んに實行する串東部署刑事の知る處となり取調の上檢事局に送らる

●醉ふたるヨボ哉 東西煙草會社の韓人職工金雲植と云ふは八日同社の運動會に錢の出ぬ酒に出つ會し日韓人機會均等と計りに詰め込みたるより全然醉つ拂ひ誰れ彼れなしに喧嘩を吹つ掛くるより韓人巡查說諭の爲め同人宅に入りたるに家宅侵入罪として訴へる杯熱を吐き剩さへ巡查に物を投げ附けたるより引致の上覺醒を待つて說諭の上同社取締の嘆願に依り放還

●天然痘患者發生 若草町一丁目四十六番戶大工辻中多吉內縁の妻酒本はるは五人の子供あるにも係らず四月十一日施行したる春季種痘には日割忘れたりとて出塲せず私生見たみ(四つ)ちよ(二つ)の二名は多々見醫士の診斷に依り去る七日痘病と決定し青坡病院に隔離せられたりと

●猛犬の繫留嚴命 仁川寺町二丁目大久保方船崎安一(十七)と云は別項運動會よりの歸途寺町一丁目長富文治方の飼犬に咬傷せられたれば直に橋本病院の手當を受くると同時に矢野獸醫檢診したるに狂犬病にはあらざりしも嚴しく繫留を命じたりと

●按摩と醉つ拂ひ 仁川花町三丁目居住の大分縣八田口昌文と云ふは一昨八日仁川運動會にて非常に醉拂つての歸さ同町の按摩等松本林治方にて金錢貸借上の事より呂律の廻らぬ管を卷いて居る處に花町派出所より警官出張大目玉を食はして歸宅せしめしと

●花見酒から喧嘩 曙町八十一統井田方雇人西崎武一(二七)は九日花見遊山に南山公園に出掛け酩酊して午後五時頃歸途本町伊藤組前に於て彷徨し居りたる中部水標橋娶五発を小石を以て毆打し負傷せしめ南部署に引致し說諭放免

●一人トボ〳〵と 仁川寺町二丁目山根梅太郎長男正義(五二)と云ふは仁川運動會塲にて迷兒となり其筋に搜查願を差出したるが夕暮れ方一人トボ〳〵歸宅したる旨屆出づ

●麻浦水上の强盜 去七日京畿道南陽郡德積島居船夫金膽根(十九)及其父某なる者荷物積取りの爲め韓船を廻はし麻浦水鐵里沖合に繫泊中午後九時頃に至り一名の賊小船を乘りつけて棍棒を提げて金が船に乘移りしより父は夫れと見るや水中に飛込み岸に泳ぎ着きて最寄りの巡查駐在所に急訴せしが斯くとは知らず件の賊は例の韓式の悠々として棍棒をひねり廻はし膽根を脅迫し居る中訴へに依りて駈付けたる巡查の爲めに押へられたる此の賊は船稼ぎ專門の有名なる强賊崔昌鉉(二五)とて既に二三回も處刑を受けし者なりといふ余罪ある見込にて目下龍山署に於て取り調べ中なりと

●電燈と乾電池 東京品川日本電業株式會社の製造にかゝる電燈の世に好評を博せしは即ち其の電球と乾電池との一大特色を有するものあるに由り世人は漸く電燈は最も安全にして且つ實益と興味とを兼ぬるを知りてより需要者は日々增加し來りたれば該社は此際事業を擴張し汎く各地方の希望者に販賣店の特約を爲す

●優等夏菊苗の分與 夏期の盆栽樂花として花界に珍賞せらるゝ夏菊の名產地たる長野縣下高井郡延德村大熊の盛農園に於ては盆栽切花等に適する千輪咲大輪咲珍花種類取交せ十二本を一組とし一組每に送料荷造費共實費廿五錢を送れ同好者には二千名を限り直ちに送り屆ける由を同園より申來れり

▲平民文庫▼

▲新町遊廓第一樓本店の九重は以前臺灣の臺北で浮名をあげた女ではありませんか彼れの原籍御承知の色男樣れなきけわらば本欄で御知らせ下さい(開度生)▲私の知人なる長島〇〇郎渡邊〇〇の兩氏は一種風變の八にして老莊佛者の如く無主義に似て主義あり海月なり海月には海月の主義あり宗教家には此人々を濟度するの方便は無之ものに候や(心配生)▲澤山鹽を撒かけて置石をして置かるべし(小僧)▲新町廓の高島屋の小富は商賣柄なか〳〵感心の女です彼れ曰く顏や形の善し惡しを問はず金の有る人をスキサンにすると自稱して居りますから金の有る方は奮つて御出親なさい早く行かねと嫌はれますよ(廓通)▲金がある位ならアンナ女は厭だと誰れやらが申します(小僧)▲七日本町通りを一人の紳士を乘せて疾走しつゝありし人力車は無慘や路傍にありし婦人を車輪に掛け右足の中央と右腕の骨を挫きしも車上の紳士は之に一顧を與へたるのみにて後をも見ずに車を急がせたり抑も如何なる紳士にやと調べて見れば驚くべし漢城病院長ならんとは嗚呼果して之れが我京城紳士の取るべき態度でしようか敢て讀者諸君に訴ゆ(痛憤生)

今日の運勢

五月十日舊四月一日●三碧●佛滅乙亥破三りんぼ△一白 平凡の日なり金融に關する業務には吉土工に忌む△二●黑 混逢紛擾多し要求懇願無●三碧●に遇ふあへ新事見合せの事△三碧●●心に罹らん又特異の音信に接するあらん△四綠●●他よりは損害受け易く親密の間には爭論不和起り易し△五黃●●衰運なり新事見合せの事取引貸借談判事不利△六白●●障礙紛錯多し改易創業開店旅行談判中裁に忌む△七赤●●泡沫に歸し易き日新事見合すべし農業林業に吉△八白●●不利不通の日なり諸事周匝密致たるべし利慾の衝突起らん△九紫●●快欣の日なり大抵吉衝突不和起らどんす(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報(自九日午後六時至十日午後六時)

南西風晴後曇

七日(華氏) 最高溫度 七一、六 最低溫度 五二、五

廣告

りん病全滅

▲完全なる最新藥の出現と驚く可き効驗▼
▲絕望の淵に沈める淋疾患者に赫く光明▼

男子 が淋病を輕微なる疾病なりと誤認して放任したる結果、病毒は漸次血液中に進軍して幾多の續發症を起し、遂に內臟を犯すに至り猶は恐るべき塊血症、濃毒症の如き狀態を現じて、果ては貴重なる生命を失ふに至るべし故にりん病患者は一刻も早く淋球を服用して怖るべき病源を根治せらるべし

帝國醫科大學實驗
内用 淋球(リンキウ)
●價 三日量 五十錢 七日量 一圓 廿八日量 三圓五十錢

婦人 の痳疾(せうかち)に至りては男子よりも一層危險甚しく、深く家庭の奧に潜伏せる病毒の禍害は兎角婦人の羞恥心の爲に蔽はれて、應急の治療を怠る爲に、救ふべからざる生殖器諸病を續發して遂に斃るゝに至るは往々世上に見る處なり淋球の驚く可き効驗は是等悲慘なる淑女を救ふて餘ある可し

故に淋病 患者は輕症たりとも寸時も忽にせず、直に淋球を服用して恐るべき淋菌の播殖を未然に防ぎ、永く家庭の和樂を保護し給へ

本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局
特約店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番 千六十八番 振替口座韓國十六番

韓國土產話
甲、當地には良い實はありませんね
乙、々の實屋で買つて見たがだめでした
甲、日希商會へ行つて見ましたか彼店には良いのがありますよ
乙、そーですか、何處です、
甲、あいご!! じないの?
本町二丁目 日希商會 御伴

の西洋人の實店で? 晩に本町を散歩すると何人でも直に氣が付く筈ですがねあの日韓書房の筋向の…火を消したり燈けたり絶ずして居る電燈廣告の付けてある店です
彼の店で賣る EDP 印埃及金
口實が 此地の實界でのまー大王でしよー、私も彼店で久しく買つて居るが實が良くて御安で一番良いです是非一度行つて嘆んで御覽なさい

銀行、會社、學校用品
簿記、圖引、細字用 千代田筆 定價一本十錢
本品は製造元に於て多年の苦心研鑽を以て發明したる物にして從來の硝子製の如き不完全なる物と其の趣きを異にし玉石を以て製造したる物なれば堅牢無比なるは言を俟たず殊に八筋の螺旋方なれば一度インキ又は墨汁に濡して克く數百字を書く事を得るも又從來のペン先の如くインキにて腐蝕するの憂なく實に便利と經濟とを兼備する品なれば一度御試用あらんことを御賞は特に御相談申上候
製造元 東京小寺共友堂
韓國一手特約店 京城日の出町八十五 進盛堂

内科 小兒科 入院隨意
京城日の出町小學校前 多々見醫院 電話九百四十番
前大韓醫院醫官兼同附屬醫學校教授 從七位勳六等醫學得業士 院主 多々見五郎

木材賣却廣告
一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
建築業 柴田芝六 京城旭町三丁目 電話五百六十八番

●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧塲 電話壹〇六九番
馬車配達
●●●衛生と消毒●●●

諸看板製作
油繪肖像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大勉强請負
永樂町二丁目 赤門通り 椹野工舍

電話一一八二番

やちよ

金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を計り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す

京城明治町
大槻商行質部

流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

内地へ土産品として好適品

韓國風俗風景寫眞帖

自一輯至五輯 定價各二十錢 郵稅二錢

高尚優美 韓國寫眞帖

各冊韓國風俗景 各金五十錢（郵稅各金四錢）

京城本町二丁目 振替口座一一五
日韓書房

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

入院隨意
京城壽町三丁目（電話二七八番）
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

はり、やいとう
電氣マッサージ
龍山新市街柳町一丁目（電話六四二）
中口由治

明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
東京火災海上運送保險株式會社
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話一三一五番

胃腸新藥
タカヂアスターゼ
韓國總代理店
仁川本町二丁目 電話八五〇番
竹田津三平

特約販賣自製

大上商店

味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
（電話二五一一番）

支那白菜漬
朝鮮菜葉漬
大賣出し

各安衛御用
表替及調進
明治町壹丁目
畳 中村秀太郎
電話七〇〇番

御披露

大世間潤に春めきて蝶々は咲き匂ふ百花に狂ひ大方の粋様方には一山超へて新町遊廓は解語の花に戯れ玉ふ年中の好季節になりましたので後戀の別れを惜み歸へらせ玉ふ粋様方の御便宜を圖り今回美をつくし精を極めたる風呂場を新築毎朝午前六時より浴場を開き一風呂サッと移り香を流させ玉ふ其の間に湯豆腐、酢の物、椀の物御好みに應じ極めて輕便に三府流の粋をぬきたる一品料理を調へ御愛顧に酬ひ奉り升夫れと

○親子丼（上等三十錢）
○鰻丼（上等三十五錢）

何時にても御注文に應じ又た出前も致し升が特に宴會は十二分に勉强老雛御好みに應じ數々の内藝妓も侍らせて御興を添へ其他碁、將棋、加留多等も一切取揃へましたれば隔てなき御友達又は御家族打ち連れての御光來を偏に奉願升

大和町三丁目
電話七三五
梅二の家

金魚各種
卸小賣

陸軍御用達
龍山山下町一丁目（兵器支廠官舍入口）
馬木勇吉本店
電話三六四番

茶器商
京城本町五丁目一番戸角
馬木勇吉支店
電話四七一番

豫告來る二十四日より祝開業一週年併せて時好品割引大賣出し可仕候

丸やま九商店
京城本町二丁目（憲兵隊前）
電話四八三番

丸やま九出張店
京城本町五丁目（壽座入口角）

關戸かや
和わた
洋太物

丸 時好品案内

●かやは關戸蚊帳株式會社韓國一手特約品なり
其他御誂の需めに應ず
●綿は廣島製綿工場特約品なり
●銘仙類各種
●新浴衣地
●珍柄友禪其他反物一切
●麻布團地其他麻物類各種
●本場久留米絣
●珍柄手織木綿各種
●やま九夏足袋

營業科目

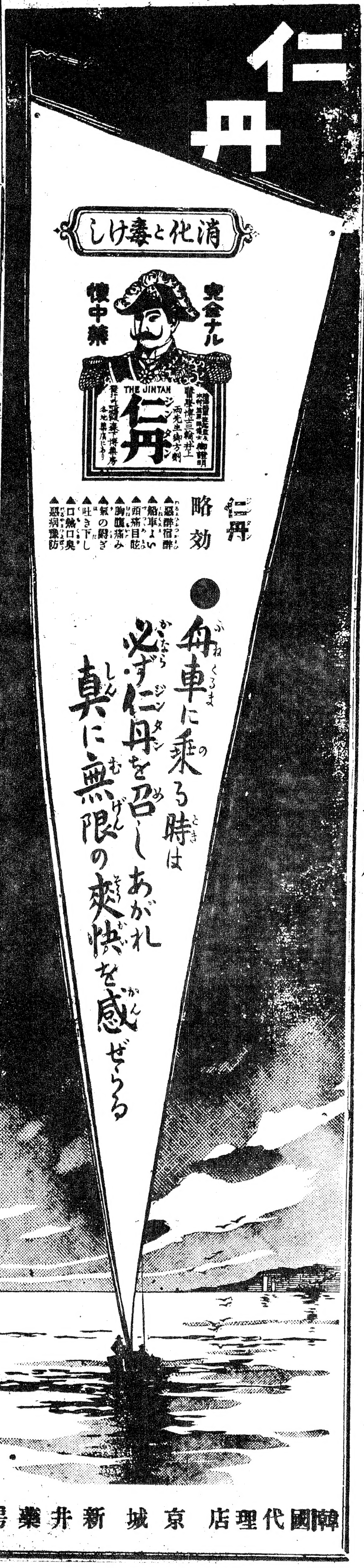
宮内府御用品調達

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋帝籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

發賣元

京東 ランバーゾ商會代理店
京東 中外アスファルト株式會社代理店
京東 千代田生命保險相互會社代理店
京東 博文館發行書籍特約店
京東 金港堂發行書籍特約
山釜 三菱合資會社石炭特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話三〇二番）
出張所 京城南大門通一丁目（電話三六九二番）

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目
電話二千四百〇九
ゑり徳商店